

刻む会

たより

NO. 77

2020年6月25日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・木村道江

事務局 宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL0836(21)8003
カンパ振込先 ゆうちよ銀行 □座番号 01590・7・32405

年会費 《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ <https://www.chouseitankou.com>
メール chouseitankou@gmail.com

第7回(2020年度)定期総会報告

小畑太作(事務局長代行)

当初、5月16日①に予定した標記の総会でしたが、新型コロナウイルス感染症対応のため、運営委員会で協議の結果、正会員の皆様には、書面により議決権を行使して頂くこととしました。元より、そうした規定はないところ、この度は超法規的措置とせざるを得なかったことをご容赦いただき、結果、60名の方々からのご返信をいただき、総会を終えることが出来たことをここに報告すると共に、ご協力下さった皆様に感謝を申し上げます。

方法としては、元の『議案・報告書』とは別に、書面決裁により修正せざるを得ない議案を賛否表明欄と意見表面欄を設けた「稟議書」として作成、4月30日に返信用封筒と同送り、5月16日迄の回答(ウェブフォームによる回答含む)を依頼しました。

書面決裁による修正議案と議決結果は後述させていただきますとして、この度の措置と結果の概要について、いくつか反省も含めて、ご報告及び説明申し上げます。

一つは前述したとおり、この度の措置は規則にはないところであり、従って、規則を越えるという意味では、こうした措置をとることについても議案化すると共に、議事の承認および可決を、規約変更と同等の三分の二以上の賛成を以て決すべきだったのかも知れません。直前の運営委員会会議自体が、時短化を図らねばならない状況だったとは言え、当会が課題としている約束や法の実現という意味においても、自身がより丁寧で合法的な対応が必要だったと考えています。しかしながら、措置そのものの議案化はともかく、結果として全ての議案で賛成が三分の二を超えたことをご報告しておきます。とは言え、正会員126名(前年比+15名)に比して、回答数は多いとは言えません。

もう一点は、殆どの議案は賛否の表明と合わせて、意見表明が出来るようにしたわ

けですが、これに対していくつもの貴重なご意見を頂きましたことを、この場を借りて感謝申し上げます。特に、言葉化に際して、より慎重を期するようのご意見につきましては、今後の活動において重々心得ていく所存であることを申し添えておきます。今後とも、お一人お一人のご意見を聞きながら、より民主的な会の運営に努めていきます。

以下、正会員以外の方は未だご覧になっていないため、この度の全議案と結果を掲載致します。また、「2019年度活動総括(評価と展望)」を転載しますので、結果と合わせて是非とも一読下さい。但し、出来るだけ正会員以外の読者にも分かるように補足もしました。その他の報告が前提となるものについては割愛をせざるを得ませんので、ご容赦下さい。正会員以外で『議案・報告書』をご覧になりたい方は、事務局迄ご請求下さい。PDFが紙媒体で提供可能です。



【議案と結果】

「稟議」とあるのは書面決裁による議案
(一部本稿のため補足)。

議案第1号 議長ならびに書記選任に関する件

稟議：議事録作成のために書記に山内弘恵前期運営委員会書記のみを選任する。

(賛成 60票 反対 0票)

議案第2号 議事日程案承認に関する件

稟議：書面決裁のためなし。

議案第3号 議事録署名人選任に関する件

稟議：以下の前総会の議事録署名人二名を再選する。久保武智 時田洋輔。

(賛成 60票 反対 0票)

議案第4号 2019年度活動報告承認に関する件

標記を承認する。

(賛成 58票 反対 0票 白票 2)

議案第5号 2019年度決算報告ならびに会計監査報告承認に関する件

標記を承認する。

(賛成 60票 反対 0票)

議案第6号 運営委員選任に関する件

稟議：議案の①③については「議案・報告書」の通り承認し、④については2020年度の代行を承認し2021年度の選任を運営委員会に付託する。

共同代表 井上洋子 木村道江
書記 山内弘恵

その他運営委員 小畑太作 金静媛

佐々木明美 徐鶴奎 藤本一規

松元一也 宮本輝男

(賛成 60票 反対 0票)

議案第7号 顧問選任に関する件

「議案・報告書」の通り承認する。

内岡貞雄 島敬史

(賛成 60票 反対 0票)

議案第8号 会計監査委員選任に関する件

「議案・報告書」の通り承認する。

木村和彦 真鍋みどり

(賛成 60票 反対 0票)

議案第9号 2020年度活動計画案承認に関する件

標記を承認する。

(賛成 60票 反対 0票)

議案第10号 2020年度予算案承認に関する件

標記を承認する。

(賛成 59票 反対 0票 白票 1)

議案第11号 その他に関する件

稟議：書面決済のためなし。但し、その他ご意見がありましたら、ご自由にご記入下さい。運営委員会で対応を検討します。

議案第12号 議長ならびに書記解任に関する件

稟議：議事録作成後に、本総会の書記を解任することを承認する。

(賛成 57票 反対 0票 白票 3)

活動日誌(前回のたより以降)

4/8(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)

4/14(火) 第1回運営委員会(宇部市)

4/19(日) B-I-Y-P実行委員会(Web)

4/30(木) 追悼ひろば 草刈(宇部市)

5/13(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)

5/17(日) B-I-Y-P実行委員会(Web)

5/26(火) 第2回運営委員会(宇部市)

6/7(日) 坑口付近 草刈(宇部市)

6/10(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)

6/16(火) 第3回運営委員会(宇部市)

今後のフィールドワーク等の予定

☆2021/1/30(土)

79周年追悼集会

☆2021/2/25(木)~26(金)

部落解放・人権西日本夏季講座

☆2021/2/24(水)

東京人権啓発企業連絡会

※5/29(金)愛知人権啓発企業連絡会FWは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

また、延期されて5/30(土)に予定されていた韓国・観音宗慰霊祭は再延期、開催の目途は立っていません。

【2019年度 活動総括（評価と展望）】
 （『議案・報告書』より）

はじめに

2019年2月末に韓国文在寅大統領あてに「長生炭鉱」現地訪問のお願いの旨の手紙を出したことをきっかけに、韓国政府との接触が叶い、韓国遺族会と「刻む会」、韓国政府の三者が、「遺骨返還」という共通の目標に向け、この1年間を通じて堅い連携を築くことができました。

この連携の上に日本政府に対し改めて韓国遺族会と共に要求をつきつけ、遺骨発掘の可能性を引き寄せようとしていた折、コロナウイルスの蔓延により3月10日予定されていた政府交渉を含め、フィールドワーク等すべての行動が中止、延期となり、現在見通しがたえない状況です。

しかし、この1年間の成果は大きなものがありました。ひとつには韓国政府との強固な連携が確保されたこと、二つ目には、遺骨返還運動や強制連行、強制労働について真摯に運動を進めておられる市民団体と広く繋がり、長生炭鉱遺骨問題がその流れの中によく認知され始めたこと。三つ目には、フィールドワーク等で長生現地を訪問する市民の皆さんが県内外問わず増えてきたこと。結果、会員500名達成目標に大きく近づきました。

ここで歩みを止めてこの一年間の努力を無駄にするわけにはいきません。創意工夫して何とかこの時期を乗り切り、次に繋げていかねばなりません。

当面行動が規制される中では特にネットの活用が重要であり、ホームページの充実や資料の整理、証言集の発行等に力を入れていきたいと思います。コロナウイルス情勢では、何より人命が優先されますが、反面人々の時間はゆっくり流れる時でも

あり、そこを捉えてしっかりと訴えていきたいと思います。

1、遺骨・遺品等の収集と返還

2019年6月3日ついに韓国行政安全部遺骸奉還課との歴史的な面談が実現しました。ソウル近郊遺族10名もかけつけ、10時半より「KTSクエア」で遺骸奉還課課長以下7名と話し合いを持ち、主に刻む会から韓国政府への要請・考え方を説明し、共感を得て「刻む会」「韓国遺族会」と共に歩むことを確認しました。

その一か月後の7月1日には、私たちの現地訪問の要請を受けた黄棟俊（ファンドンジュン）課長以下3名が早速来日され、「追悼ひろば」や西光寺、ピイヤを視察されました。



ピーヤを訪れた黄棟俊（ファンドンジュン）課長

2月1日の78周年の追悼集会には、遺骨奉還課の上部機関である「過去史関連連業務支援団」团长以下4名が出席され、その折、「刻む会」・「遺族会」と3者協議も行われ今後の方針について話し合いも持たれました。

日本政府に対しては10月18日内閣官房あてに①韓国政府との民間徴用者遺骨問題についての進捗状況の説明、②合意に至らない理由、③今後の計画、④長生炭鉱遺骨問題への政府としての取組等質問書を提出しましたが、文書での回答は拒否されました。その後福島みずほ事務所を通じて、現地調査について現時点での予算確保が困難、今

後条件がいかにかに整うかで状況は変わりうるという頭での回答を得ました。

また3月10日には韓国遺族会が参席し日本政府に対し正式な要請を行う予定でしたが、新型コロナウイルス関連情勢のために延期となりました。

2、78周年追悼式・追悼集会の開催

2020年2月1日（土）11時より、韓国から遺族13名、日本国内から4名が参席され、朴耀子（パクヨジャ）さんの敬虔な祈りの舞で厳かに始まることができました。韓国政府より「過去史関連業務支援団」团长はじめ4名が初めて出席されて、韓国政府を代表して位牌奉還と遺骨発掘のために最善を尽くすとの決意を表明されました。また二日間ご遺族とすべての行動を共にされたことも特筆すべき事と思います。

追悼式には県内外の市民約150名が参加され、近年にない盛大な追悼式となりました。

第2部は宇部市「コマランド」で14時から講演会を行いました。追悼式に引き続き100名を超す皆様方が参加されました。

「日帝強制動員&平和研究会」研究委員の許光茂（ホ グァンム）さんは、「募集・官斡旋・徴用」は制度上の呼び方であり、実態は強制連行であったことを、数々の証



追悼集会 第2部・講演会の様子

言・事例をもとに講演されました。

また、集会冒頭では、在日ご遺族ハルナユさんが作詞作曲された犠牲者追悼ミュージックビデオ「カジマヨ」も上映されました。

夜の交流会にも50名を超す参加者があり、全国からかけつけてくださった支援者の皆様との熱い交流ができました。

3、学習会・研究会およびフ

ールドワークの開催

本年度は韓国からの6件を含む15件に及びフィールドワークの受け入れがありました。韓国からの訪問者は年々増えており、ピーヤに続く海岸道路の清掃もしていただきました。

東京からは「合唱団ソレイユ」、広島から「広島韓人会」、福岡から「田川地区人権同和対策推進協議会」、中国地方の「年金生活研修会」等々、県外からが多数でしたが、地元から「宇部共立病院」の看護学生の参加もありました。

8月2～4日宇部図書館で開催された「平和フェスタ2019」には昨年に引き続き資料展示並びに講演を行いました。地元への関心の掘り起こしに力な企画として今後も大切にしなければなりません。

また、8月企画「平和のための戦争展」では、山口市と広島市に出張講演をしましたが、広く関心を呼び起こすことができたと思います。在日の実業家団体である「サンキョウクラブ」での講演も7月にありました。



追悼ひろばに設置した壁資料

4、追悼ひろばの拡充

2020年1月には、長生炭鉱の持つ歴史的意義や活動等の理解に役立てるよう、西光寺にある位牌の写真や追悼式の写真等数点を壁面資料として展示が完了し、フィールドワーク等で役立てています。

日本語版、ハングル版、英語版の3種のパンフレットを収納するため、雨風に強いボックス及び掲示板の設置、並びに隣家とのブロック塀周辺等の整備も計画中です。

5、ピーヤ等の保存（前進が見られず、以下前年度と同様です）

長生炭鉱の唯一の遺構であるピーヤは、犠牲者の墓標のような存在であり、犠牲者と遺族の悲しみの象徴として何としても後世に残さなくてはなりません。建立されてからすでに100年を経過し自然崩壊は避けることはできませんが、海底炭鉱としての学術的価値も高いものです。

「刻む会」は結成当初から保存に取り組み、文化財として指定するよう宇部市並びに山口県に要請してきましたが、度々の要請にもかかわらず宇部市の協力は得られず、山口県は宇部市の意向を尊重すると回答しています。

2019年3月末に宇部市は「長生炭鉱と石炭産業」という説明版をピーヤの見える防波堤にとりつけました。その説明版にはピーヤの記載もあり、恣意的な破壊行為には一定の抑制効果も期待できます。

が、貴重な産業遺産として宇部市が「文化財」に指定することが最善の策



宇部市の設置したピーヤの説明板

に変わりはなく、今後も粘り強く交渉を続けていきます。

6、証言・資料（史料）の収集と編集

今年度も新たな資料集の発行とはなりません。長生炭鉱会社側資料である「集団渡航航旅人付記録」の内容の再点検についても、その後新たな裏づけ資料等の発見は歳月の壁が大きくはだかり、手がつけられていません。しかし、長澤秀さんの「海峡」論文については、ご本人の許可を得て、証言・資料集として再発行をめざします。

また、78周年追悼集会で「遺族の黄鐘培（ファン ションベ）さん長兄が宇部市内で強制連行され犠牲となった」との証言について、さらに裏付け調査を続けていきます。

7、山口朝鮮初中級学校への支援

山口朝鮮学校に対する補助金は、山口県と下関市が2013年度から、宇部市は2014年度から一方的に停止したため、「朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク」の構成団体として抗議・要請行動や朝鮮学校支援等の諸活動に積極的に参加してきました。

コロナウイルス蔓延という事態の中で、人々の差別意識や排外主義が大きく台頭し始めています。さいたま市が予断と偏見にもとづき、朝鮮学校は「マスクを転売する可能性がある」と犯罪者扱いをして、マスク配布対象外としたことは行政による衝撃的な差別事件であり、決して許されるものではありません。今後でも在日韓国・朝鮮人の皆様が堂々と権利を主張し基本的人権が守られるよう、とりわけごもたちの学ぶ環境について全力で支えていきます。

8、その他、目的を達成するために必要な活動

(ア)行政との交渉

山口県に対しては、6月17日国際課との懇談会を経て、6月25日商工観光委員会にて県議3名から協力要請がされましたが、「刻む会」の要望を国に伝えるとの域を超える回答はありませんでした。

宇部市とは10月25日、2月20日と2回の問題解決協議会を持ちましたが、いずれも調査依頼等にはこたえるものの、遺骨発掘調査や追悼式への協力は従来通りであり、来日韓国政府関係者との面談さえも非礼にも拒否しています。懸案であったピーヤの説明版については宇部市が2019年3月末に堤防に設置しましたが、ハンングル版については、今後「刻む会」が作成設置することになりました。

(イ)自治体議員等の活躍

上記山口県の交渉については、共産党木佐木議員、社民党中嶋議員、国民民主党酒本議員が質問にたちました。また12月13日懇談会も開催し理解と支援を訴えました。宇部市議との懇談会は企画できませんでした。

(ウ)他団体との交流

本年も他団体との交流を積極的にはかり、機会あるごとに「長生炭鉱遺骨問題」を訴えてきました。

5月28日「NPO法人無窮花堂友好親善の会」総会に原委員を派遣しました。

4月6〜7日群馬で開催された「強制動員真相研究会」では井上洋子共同代表が特別報告を行い多くの出会いがありました。



宇部市との交渉の様子

た。またネットワークの事務局会議には山内弘恵書記が3回出席しました。

「遺骨奉還宗教者市民連絡会」主催の大韓民国人吉岐市芦部港遭難者日韓合同慰霊祭が10月10〜11日にあり、共同代表井上と山内書記が参加し、吉岐市行政の取り組みを学習し、また韓国政府との接触も果たしました。2月13日大阪市での意見交換会には金委員が出席しました。

関東大震災時朝鮮人虐殺を追悼する神奈川県集会、東京集会に東京在住の大野会員を派遣しました。

広島「中国人強制連行西松安野和解10周年記念行事」が10月19〜20日開催され松元委員が参加し、和解に至る過程の学習と訪日遺族と共に追悼集会に参加しました。

「人間いきいき研究会」と共にプチョンの子どもたちとの5月交流受け入れについて準備を重ねてきましたが、新型コロナウイルス関連情勢のためいったん9月延期となりました。また2月防府市で開催の「手作り交流まつり」で展示宣伝を行いました。

4月13日「大韓仏教観音宗慰霊祭」が開催され、前日の交流や現地準備等々協力しました。

7月25〜27日フィリピンマニラで開催された「ア太平洋交流協会国際会議」に井上洋子共同代表と小畑太作事務局長が招待参加し、小畑太作事務局長が報告を行いました。

その他、各種講演会やフィールドワークにも積極的に参加し、見聞と学習を広げてきました。

(エ)マスコミ対応

マスコミの関心は年々低くなっており、今後何らかの対策が必要かと思えます。

(オ)運営委員会と会員の動向

会員数は4月14日現在、正会員126名(前総会比15名増)、賛助会員271名(同前34名増)、

寄付者105名(同前11名増)となりました。今年度は会員(寄付者含む)500名組織達成を必達目標として、フィールドワークや講演、各種市民集会参加等を通じて加入を訴えてきた成果、目標を達成することができ大きな成果として評価できると思えます。今後もあらゆる機会を通じて加入を訴えていきます。

新型コロナウイルスの関係で、フィールドワークが中止・延期になっている状況ですが、各自で現地を訪問していただけるよう、追悼ひろばと坑口付近の草刈りを行いました。



追悼ひろば周りの草取りをしました。庭木の剪定もして綺麗になりました。



30度を超える暑さの中、坑口付近、ヤマの神の祠跡までの道を草刈りました。「男たちの碑」の草刈もしました。



【一般会計】 (円)

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	500,000	3,000	505,000	101.0%	
2	寄付金	1,000,000	16,600	865,685	86.6%	※
3	物販	33,000	1,400	47,150	142.9%	
	証言・資料集	25,000	1,400	36,200	144.8%	
	その他	8,000	0	10,950	136.9%	
4	雑収入	4,000	0	3,740	93.5%	
5	前期繰越金	11,306	0	11,306		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,548,306	21,000	1,432,881	92.5%	

	歳出					
1	事務費	65,000	2,939	40,317	62.0%	
2	広報費	240,000	36,934	276,376	115.2%	送料、他
3	会議費	30,000	30,000	30,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	374	4,169	41.7%	電気代3月分
5	活動費	1,040,000	632,684	890,861	85.7%	
	学習会等	90,000	0	74,849	83.2%	前号参照
	追悼集会	650,000	632,684	632,684	97.3%	
	その他活動	300,000	0	183,328	61.1%	
6	他団体会費等	30,000	0	38,000	126.7%	
7	雑支出	40,000	1,217	58,696	146.7%	
	手数料	30,000	1,217	41,197	137.3%	
	その他	10,000	0	17,499	175.0%	
8	予備費	50,000				
9	特別会計へ繰出	43,306	43,306	43,306	100.0%	
	小計	1,548,306	747,454	1,381,725	89.2%	
10	繰越金	0	-726,454	51,156		
	合計	1,591,612	21,000	1,432,881	90.0%	

※寄付者 (敬称略)

井橋 昌夫 内山 賢次 金澤 正善 栗原 健 関谷 和子 宮川 恵子 望月 優大
山本 昌男

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,440,224				
繰入金	43,306		繰越金	1,483,530	
合計	1,483,530		合計	1,483,530	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,776,668				
繰入金	0		繰越金	1,776,668	
合計	1,776,668		合計	1,776,668	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

【一般会計】 (円)

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	600,000	314,000	314,000	52.3%	
2	寄付金	900,000	97,500	97,500	10.8%	※
3	物販	46,000	0	0	0.0%	
	証言・資料集	36,000	0	0	0.0%	
	その他	10,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	4,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	51,156	51,156	51,156	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,601,156	462,656	462,656	28.9%	
	歳出					
1	事務費	50,000	14,267	14,267	28.5%	
2	広報費	300,000	83,516	83,516	27.8%	送料、印刷
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	748	748	7.5%	電気代 4~5月分
5	活動費	1,035,000	0	0	0.0%	
	学習会等	135,000	0	0	0.0%	
	追悼集会	650,000	0	0	0.0%	
	その他活動	250,000	0	0	0.0%	
6	他団体会費等	40,000	13,000	13,000	32.5%	切手まつり、みずほ塾
7	雑支出	65,000	16,478	16,478	25.4%	
	手数料	45,000	16,478	16,478	36.6%	
	その他	20,000	0	0	0.0%	
8	予備費	36,156				
9	特別会計へ繰出	35,000	0	0	0.0%	
	小計	1,601,156	128,009	128,009	8.0%	
10	繰越金	0	334,647	334,647		
	合計	1,636,156	462,656	462,656	28.3%	

※寄付者 (敬称略)

浅野 直人 有久 園子 岩瀬 三郎 内岡 貞雄 内岡三枝子 大黒 春江 岡田 淳子 小川 順子
 落合紀久子 菊地 登 京田 一美 熊野 譲 古賀 明江 坂 貞子 佐々木洋子 島村真知子
 鈴木 忠実 田上 中 鳥野小百合 中島 清志 中社 正文 萩 ルイ子 浜田 光明 福島 直子
 福田富美子 福田 安子 藤井 達正 藤谷 光信 藤本エイ子 三賀森栄子 水谷 和子 水谷 淳
 光成 和正 宮川 恵子 村山 勝 本吉 真希 森田 彰人 柳田 雅江 山内小夜子 山本 英治
 山本 興治 山本 利明 利元 克己

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,483,530		工事費	288,508	リーフレット設置、散水機撤
繰入金	0		繰越金	1,195,022	
合計	1,483,530		合計	1,483,530	

【遺骨収集等特別会】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,776,668				
繰入金	0				
			繰越金	1,776,668	
合計	1,776,668		合計	1,776,668	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

真相究明ネットワーク発刊
「明治日本の産業革命遺産」
と強制労働
500円



事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！

「刻む会」発刊 証言資料集 全3冊

絶賛！好評発売中！
頒布価格 1冊 300円
2冊セットで 500円
3冊セットで 700円



韓国・真相糾明委員会発刊書籍

←『日本の長生炭鉱水没事故に関する報告書』
ご希望の方はカンパ 1000円でお送りします。

『委員会活動結果報告書』（日本語版）→
ご希望の方は、カンパ 300円（送料込）でお送り
します。



日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書

5冊セット 3000円（送料込）で頒布します！
日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書
お申込は：小畑太作

(taisaku@mac.com / fax 0836-21-8003)



報告書「朝鮮人BC級戦犯に対する真相調査—捕虜監視員の動員と戦犯処罰の実態を中心に—」

口述記録集「ボンボン船に乗って海の幽霊になるところだったよ」(忠清道から福岡、長崎、佐賀など九州への動員)



口述記録集「朝鮮という私たちの国があったのだ」(大阪造兵廠、群馬中島飛行機、沼津軍属、佐世保、呉、東京陸軍被服廠、捕虜監視員など軍属として日本、東南アジア、中国への動員)



報告書「ハワイ捕虜収容所における韓人捕虜に関する調査」
+韓国語の「太平洋戦争実記録集」(沖縄の阿嘉島への動員、特設水上勤務 103 中隊)



BIYP 韓国富川の中学生との交流

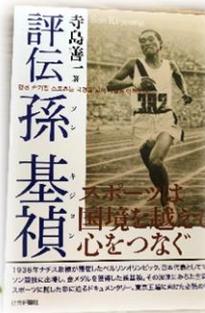
BUcheon-ikki ikki Asia Youth Exchange Program

人間いきいき研究会の企画であるBIYP韓国・プジョン市の中学生との交流は1年毎に韓国と日本で交互に開催されています。2020年は日本側の受け入れの年で、現在受け入れに向けての準備を進めています。特に日本開催では長生炭鉱のフィールドワークも取り入れ、「刻む会」も4年前からこの企画を共催団体として協力しています。

新型コロナウイルスの影響で5月受入れ予定が9月に変更となり、現在は毎月第3日曜日にWebにて実行委員会を開催し、具体的相談を行っています。9月開催については7月頃開催の可否を決定します。興味のある方はご連絡ください。協力者大歓迎です！

開催の可否等については、次回の『刻む会たより』でご案内します！

本のご紹介



「刻む会」発足当初、遺族会との通訳をしてくださった故・裴基秀さんのご子息・裴哲恩さん(現・KJプロジェクト代表)より、この本をご紹介いただきました。

1936年ナチス政権が開催したベルリンオリンピック。日本代表としてマラソン競技に出場し、金メダルを獲得した孫基禎。その波瀾にみちた生涯とスポーツに託した夢に迫るドキュメンタリー。写真多数収録。東京五輪に向けた必読書。

評伝 孫基禎 -スポーツは国境を越えて心をつなぐ
寺島善一著 社会評論社 1400円+税
一般書店で購入できます！

振替用紙を同封しています。
今年度の会費納入をお願いします！

※納入情報は封筒の宛名下に記載していますのでご確認ください。

事務局より 会員動静 (2020年5月25日現在)
正会員 126名 (当年度総会比0名)
賛助会員 271名 (当年度総会比0名)
寄付者 107名 (当年度総会比+2名)
計 504名 (当年度総会比+2名)
会員・寄付者募集中！知人・友人にぜひ一声お願いします！